

概 要

金沢市立病院



金沢市立病院憲章

金沢市立病院は市民の生命と健康を守るため、地域のニーズを反映し市民に信頼される質の高い病院をめざします。

- 1 最新の医学水準に基づく診療を行います
- 1 親切で心のこもった医療サービスを行います
- 1 患者さんの権利や意思を尊重します
- 1 患者さんが満足し安心できるよう努めます
- 1 適正で効率的な病院運営に努めます

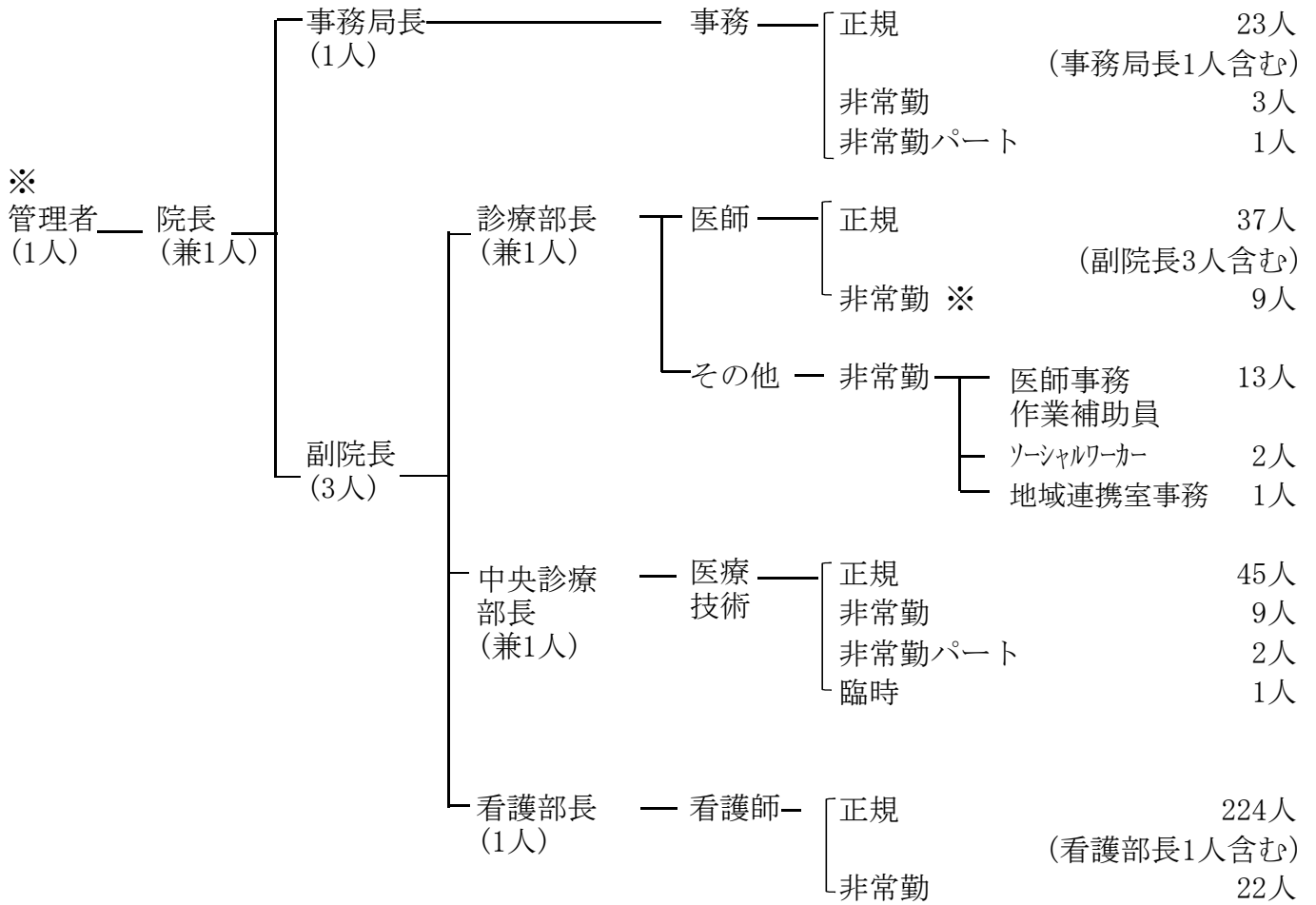
平成30年度

名 称	金沢市立病院
所在地	〒921-8105 金沢市平和町3丁目7番3号 TEL 076-245-2600 FAX 076-245-2690 [URL] http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/ [E-mail] byouin@city.kanazawa.lg.jp
開設者	金沢市長 山野 之義
病院事業管理者 (兼)病院長	高田 重男
診療科目 (H30.4)	21診療科 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓・リウマチ科 内分泌・糖尿病内科、血液内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科 皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科 放射線科、麻酔科・ペインクリニック科、神経精神科
病 床	一般病床 280床 (ハイケアユニット病床4床、 地域包括ケア病床50床、人間ドック8床含む) 結核病床 25床 感染症病床 6床 計 311床
承認事項 (H30.4)	急性期一般入院基本料(急性期一般入院料1)、結核病棟10対1入院基本料 ハイケアユニット入院医療管理料1、地域包括ケア病棟入院料2 診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算1 重症者等療養環境特別加算、栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算1、感染防止対策加算1、呼吸ケアチーム加算 後発医薬品使用体制加算1、データ提出加算2、入退院支援加算1 認知症ケア加算2、糖尿病合併症管理料、がん患者管理指導料 糖尿病透析予防指導管理料、院内トリアージ実施料 開放型病院共同指導料(Ⅱ)、ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ) がん治療連携指導料、排尿自立指導料、薬剤管理指導料 検体検査管理加算(Ⅱ)、神経学的検査、画像診断管理加算2 CT撮影及びMRI撮影、心臓MRI撮影加算、外来化学療法加算1 抗悪性腫瘍剤処方管理加算、無菌製剤処理料 心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅱ)、脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ) 運動器リハビリテーション料(Ⅰ)、呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ) 輸血管管理料Ⅱ、輸血適正使用加算、麻酔管理料(Ⅰ)、 病理診断管理加算1 他 救急告示病院、災害拠点病院

(1) 病院の沿革

明治33年 3月	金沢市伝染病隔離所を桃畠町に設置（現在の野町3丁目）
明治35年 2月	金沢市立桜木病院と改め、茶畠1の小路（現在の寺町4丁目）に移転
昭和 3年 4月	金沢市立金沢病院を野田寺町1丁目（現在の寺町1丁目）に新設 生活困窮者を対象とした内科と外科の病院（病床69床）として発足 その後、眼科、小児科、皮膚泌尿器科を設置
昭和23年10月	金沢市産院を下本多町に新設（病床50床）
昭和25年 4月	金沢市立金沢病院を金沢市民病院と改称し、金沢市立桜木病院を金沢市民病院付属伝染病院に改める
昭和30年 7月	金沢市産院を金沢市民病院付属産院に改める
昭和34年 8月	金沢市民病院を総合病院金沢市立病院と改称し、平和町3丁目の現在地に 移転、8診療科200床（一般病床80床、結核病床70床、伝染病床50床）
昭和38年 3月	一般病床124床、結核病床106床、伝染病床50床の合計280床に増床
昭和40年 6月	伝染病床を80床に増床（12診療科310床の運営）
昭和56年 5月	金沢市保健審議会から市長へ「金沢市立病院発展計画」を提言
昭和59年 3月	金沢市立病院改築マスタープランを策定
昭和61年 6月	金沢市立病院建設工事实施設計完了 （一般病床280床、結核病床40床、伝染病床40床の計360床）
11月	金沢市立病院建設工事に着工
昭和63年 5月	本館部分の建設工事（玄関を除く）竣工
6月	本館部分の使用開始（14診療科） （一般病床163床、結核病床40床、伝染病床11床の計214床）
7月	隔離病舎（別館）建設工事に着工
平成元年 3月	隔離病舎竣工及び使用開始（伝染病床40床）
6月	玄関及び周辺整備工事など全館完成
平成 5年 2月	本館地階増築工事（MRI室等）竣工
平成 8年 8月	土曜隔週閉院（第1・3土曜閉院）試行
平成10年 4月	結核病床を25床に減床
平成11年 4月	「伝染病予防法」の廃止に伴い伝染病床40床を廃止し、新たに「感染症の 予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、2類感染症 病床6床を設置
8月	東館竣工及び使用開始（健康管理センター、透析センター、内視鏡センターほか）
平成13年 3月	オーダリングシステム稼働
6月	睡眠呼吸障害センター新設（別館5階）
12月	HCU（重症患者室）運用開始（3階東6床、5階東6床）
平成14年 1月	結核診察室運用開始（別館1階）
4月	神経科精神科を設置（18診療科）地域連携室新設
10月	完全土曜閉院本格実施(条例化)
平成15年 8月	外来点滴室新設
平成17年 1月	院内完全禁煙実施
4月	産科休診、臨床工学室新設、地下売店リニューアル
11月	金沢市立病院中期経営計画の策定
平成18年 4月	小児科休診、カード式テレビシステム稼働
10月	開放病床（オープンベッド）稼働
平成19年 9月	小児科再開
11月	金沢市立病院経営改善会議答申
平成20年 4月	産科再開
平成21年 1月	診療材料包括管理業務委託（SPD委託）開始
8月	電子カルテ（医療情報システム）稼働
平成22年 4月	臨床研修医採用
平成23年 4月	石川県地域がん診療連携推進病院指定
7月	7対1看護体制導入
平成24年 3月	金沢市立病院新中期計画（新5カ年計画）策定
3月	透析用コンソール25台に造設
9月	災害派遣医療チーム(DMAT)結成
平成25年 4月	地方公営企業法の規定を全部適用、病院事業管理者設置
平成26年 1月	金沢市立病院新中期計画外部評価
10月	地域包括ケア病床50床設置
平成28年 3月	電子カルテ（医療情報システム）更新
平成29年 3月	新金沢市立病院経営計画策定

平成30年度の職員配置状況



定数

正規	329人
非常勤	50人
非常勤パート	3人
臨時	1人
合計	383人

※は定数外

(3) 施設概要

- 1 所在地 金沢市平和町3丁目7番3号
(敷地 駐車場等を含め 16,417.38㎡)
- 2 建物構造 鉄骨造 外壁プレキャストコンクリート板
本館 地下1階、地上6階
別館 地上5階
東館 地上3階
- 3 建築面積 5,362.7㎡
- 4 延床面積 22,404㎡ (屋外付帯含)
〔内訳〕 本館 18,070㎡ (付帯含む)
別館 1,255㎡
東館 3,079㎡
- 5 本館の内容

地階	栄養管理室・給食室、売店、理容室、医療ガスボンベ室、心臓リハビリ室、ESWL室等
1階	内科（神経内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、腎臓・リウマチ科、内分泌・糖尿病内科、血液内科含む）、外科、整形外科、脳神経外科 麻酔科・ペインクリニック科 放射線室（血管造影室、CT撮影室、MRI撮影室、骨密度測定室、乳房撮影室等）、救急室、外来点滴室、薬局、総合案内、計算窓口、地域連携室、入院センター、退院支援室、医事室、防災センター、軽食喫茶室等
2階	小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、中央検査室、生理検査室等、超音波室、医療福祉相談室、院長室、副院長室、応接室、医局、事務局、診療録管理室等
3階	3階東病棟（談話コーナー）、手術室・中央材料室、臨床工学室、講堂等
4階	リハビリテーション科、4階東病棟（談話コーナー）等
5階	5階東病棟（談話コーナー）、5東HCU病棟 5階西病棟
6階	6階西病棟（談話コーナー）、6階東病棟等

6 東館の内容

1階	玄関、駐車場
2階	健康管理センター（人間ドック個室8床）、内視鏡センター
3階	透析センター、院内託児所、看護部長室

7 別館の内容

1階	結核診察室、処置室、消毒室など
2階	感染症病床事務室・検査室等
3階	感染症病床、病室（6床）、ナースセンター等
4階	ボランティア室、会議室、臨床研修医室等
5階	呼吸器・睡眠センター、医療安全管理室、看護部教育開発室

(4) 診療業務関係

【病院の性格と役割】

- ・ 二次医療
- ・ 積極的な救急医療
- ・ 他の医療機関等との密接な連携
- ・ 総合保健医療体制の確立
- ・ 地域住民を主体とした” 地域連携型病院”

【重点対策】

- ・ 地域中核病院
- ・ 災害拠点病院
- ・ リハビリテーション
- ・ 予防医療
- ・ 他の医療機関、高齢者施設との連携
- ・ 行政・福祉機関との連携
- ・ 結核医療
- ・ 特殊専門外来（更年期、睡眠時無呼吸など）
- ・ 健康診断
- ・ 医療相談

(5) 診療施設・設備

〔病床数〕 311床（一般病床280床（うちドック8床）、結核病床25床、2類感染症病床6床）
※開放病床として25床を確保

〔手術室〕 バイオクリーンルームなど5室

〔人工透析センター〕 透析用ベッド25床

〔リハビリテーション室〕 運動療法コーナー、作業療法コーナー、言語聴覚療法室、水治療室など

〔電気設備〕 契約電力 1,100kW（6.6kV受電）
非常用発電機 500kVA 200V 60Hz
防災用発電機 85kVA 200V 60Hz
CVCF設備 中央監視室設備 ページング設備 電気錠設備

〔空調設備〕
熱源 二重効用吸引式冷温水発生機 200USRT …… 2基
空冷ヒートポンプチラー 80USRT …… 2基
炉筒煙管蒸気ボイラー 2.4ton/h …… 2基
空調機 ターミナル式エアーハンドリング型空調機
空冷ヒートポンプ型パッケージユニット

水冷パッケージエアコン
ファンコイルユニット
床暖房設備（待合）
バイオクリーンルーム（垂直層流式クラス100）

〔給排水衛生設備〕

給 水	（井水）	受水槽	150ton	2槽式	……	1基
		高架水槽	40ton	2槽式	……	1基
	（市水）	直圧給水方式				
		厨房、薬局、R I、X線、検査室				
給 湯	中央式	貯湯槽	5m ³		……	2基
軟水装置		1,000/h			……	2基

〔昇降機設備〕

高層用E L V（寝台用）積載量	1,000kg	15人乗	……	2基
高層用E L V（一般用）積載量	750kg	11人乗	……	2基
厨房用E L V（給食用）積載量	1,000kg		……	1基
東館 E L V（一般用）積載量	750kg	11人乗	……	1基
別館 E L V（寝台用）積載量	750kg	11人乗	……	1基
ダムウェーター（給食用）積載量	100kg		……	2基
バーチカルコンベア（物品用）積載量	15kg		……	2基

〔消防防災設備〕

自動火災報知機設備、屋内外消火栓設備、スプリンクラー設備、ダクト消火設備、ハロン消火設備、連結送水管設備、消防水槽等

〔その他設備〕

投薬表示システム
総合案内板
自動再来受付機

(6) 経営状況

【予 算】平成30年度

収益勘定

病院事業収益		病院事業費用	
医業収益	5,191,914 千円	医業費用	5,644,936 千円
医業外収益	616,205 千円	医業外費用	72,181 千円
特別利益	660 千円		
合 計	5,808,779 千円	合 計	5,717,117 千円
予定利益	91,662 千円		

患者数

入院 84,680人 (一日平均 232 人)

外来 108,580人 (一日平均 445 人)

年間外来診療日数 244日

(7) 主たる医療機器等

核磁気共鳴装置(MRI)

全身用CTスキャナー(320列)

X線骨密度測定装置

自動細菌検査装置

泌尿器系透視撮影装置

内視鏡ビデオ情報システム

多目的血管造影装置

電動油圧式手術台

肺機能測定システム

E・O・Gガス消毒器

脳神経外科用手術顕微鏡

低温プラズマ滅菌システム

超音波イメージングシステム

自動洗滌消毒装置

簡易陰圧装置

全自動錠剤分包機

全自動アンプル払出システム

高圧蒸気滅菌装置

小腸ビデオスコープ

細径胸腔ビデオスコープ

大腸内視鏡形状観測装置

胆道ビデオスコープ

カプセル内視鏡システム

耳鼻咽喉科内視鏡システム

デジタルX線撮影システム

デジタル超音波診断装置

LDR分娩ベッド

全自動筋力測定訓練装置

多項目自動血球計数装置

誘発電位検査装置

乳房X線撮影装置

大動脈バルーンポンプ装置

ウロダイナミクス検査装置

体外衝撃波結石破碎装置

アルゴンレーザー光凝固装置

超音波白内障手術装置

総合睡眠時無呼吸管理システム

生化学自動分析機

デジタルガンマカメラシステム

持参薬鑑別支援装置

多用途生体評価システム

移動型ポータブルX線装置

バイポーラ凝固装置

体外循環用血液ポンプ駆動装置

全身均等和温治療器

脳室ビデオスコープ

透析装置